





## 第 49 回 JSiSE 全国大会のご案内

担当者： 全国大会委員会

テーマ：教育システム情報学の今 ～JSiSE 創立 50 周年記念大会～

<https://taikai2024.jsise.org/>

- 開催日時： 2024 年 8 月 27 日(火) ～ 8 月 29 日(木)
- 会 場： 明海大学 浦安キャンパス  
\*基本は対面形式，50 周年記念シンポジウムと連携企画のみハイブリッド
- 主 催： 一般社団法人教育システム情報学会

### ■ 全国大会の実施方法について

第 49 回全国大会は，対面形式にて実施いたします。一部の企画（50 周年記念シンポジウム，連携企画を予定）のみ，オンラインでもご参加いただける予定です。その他のプレカンファレンス，一般・企画セッション，インタラクティブセッション，学生研究特別セッション等については，現地での対面参加のみ可能です。オンラインでもご参加いただける企画の詳細につきましては，決まり次第，大会 Web サイト等でアナウンスいたします。

### ■ 大会日程（予定）

8 月 27 日（火）	
午前	プレカンファレンス
午後	オープニング(開催校挨拶)，50 周年記念シンポジウム
8 月 28 日（水）	
午前	一般・企画セッション
午後	各種表彰，連携企画，インタラクティブセッション・学生研究特別セッション，懇親会
8 月 29 日（木）	
午前	一般・企画セッション，インタラクティブセッション
午後	一般・企画セッション，クロージング

(\*) 大会日程は変更される可能性があります。

## ■ 交通アクセスについて

<https://www.meikai.ac.jp/access/>

新浦安駅から徒歩約 8 分

## ■ 大会までのスケジュール

原稿修正締切の後に、参加申込が開始されます。発表者には、参加申込の開始時にメールでご連絡いたします。本年も講演申込と投稿締切が同日となっております。また、投稿締切後、原稿修正期間が設けられています。例年と異なりますのでご注意ください。

- 2024 年 4 月 11 日(木) 講演申込・投稿開始
- 2024 年 5 月 29 日(水) 講演申込・投稿締切
- 2024 年 6 月 5 日(水) 原稿修正締切
- 2024 年 6 月 6 日(木) 参加申込開始
- 2024 年 7 月 4 日(木) [発表者] 参加申込締切
- 2024 年 7 月 30 日(火) [発表者以外] 参加申込締切(郵便振替・コンビニ決済)
- 2024 年 8 月 6 日(火) 参加費納入締切(郵便振替・コンビニ決済)
- 2024 年 8 月 29 日(木) [発表者以外] 参加申込締切(クレジットカード)

## ■ プログラム

プログラムは変更される可能性があります。最新の状況は大会 Web サイトに掲載いたします。

### ○ 企画セッション

1. エージェンシー育成のための社会情動的スキルに関する研究
2. 高度な対話による先進的な教育・学習システム
3. 医療者教育における新技術活用
4. 学習・教育支援における生成 AI の利用可能性と課題
5. 教育 DX と実世界指向学習環境
6. 若手研究者の「教育システム」「学習システム」を体験しよう

## ■ 講演論文集について

第 45 回大会より CD-ROM での配布を廃止し、Web による配布のみとしております。Web 版の講演論文集は、2024 年 8 月 19 日(月)に大会参加者のみに公開され、2025 年 3 月 3 日(月)に一般公開されます。

## ■ 企業展示・広告の募集

企業展示・広告を募集いたします。お申し込み先など、詳細は大会 Web サイトでお知らせいたします。

## ■ 協賛金のお願い

大会運営のための諸費用として使用させていただく協賛金を募集しております。ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。詳細は大会 Web サイトでお知らせいたします。

■ 大会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

一般社団法人 教育システム情報学会 全国大会委員会

E-mail : [jsise-desk@bunken.co.jp](mailto:jsise-desk@bunken.co.jp) (@を半角に変更してください)



## 2024 年度研究会開催スケジュール

担当者： 研究会委員会

2024 年度の年間スケジュールは下記の通りです。

詳細は、学会ウェブページ ([https://www.jsise.org/society\\_research/](https://www.jsise.org/society_research/)) をご覧ください。

回	テーマ	開催日	会場	申込締切	原稿締切
第 1 回	DX・AI 時代の学習環境，リス キリング／ヘルスケア分野の DX 人材育成／一般	5 月 18 日(土)	千葉工業大学 津田沼キャンパス 【現地】	3 月 21 日 (木)	24 月 11 日 (木)
第 2 回	ICT を活用した学習支援と教育 の質保証／一般	7 月 21 日(日)	社会福祉総合セン ター (札幌市中央区) 【現地】	5 月 30 日 (木)	6 月 20 日 (木)
第 3 回	学習の動機付け支援／一般	9 月 28 日(土)	高知大学 朝倉キャンパス 【現地】	8 月 8 日 (木)	8 月 29 日 (木)
第 4 回	AI 時代における学習支援シス テムデザイン／一般	11 月 9 日(土)	電気通信大学 100 周年記念ホール 【現地】	9 月 19 日 (木)	10 月 9 日 (水)
第 5 回	教育 DX と実世界指向学習環境 ／一般	2025 年 1 月 開催予定	拓殖大学 文京キャンパス 【現地】	2024 年 11 月 21 日(木)	2024 年 12 月 12 日(木)
第 6 回	情報活用能力から情報 I・II とデータサイエンス教育への 橋渡し／一般	2025 年 3 月 開催予定	静岡産業大学 藤枝駅前キャンパ ス(予定) 【検討中】	2025 年 1 月 16 日(木)	2025 年 2 月 6 日(木)
特集	未定	未定	【検討中】	2025 年 1 月 16 日(木)	2025 年 2 月 6 日(木)

研究会全般に関するお問い合わせは、学会事務局までお願いいたします。

2024 年度より、ニューズレターの発行は年 4 回となります。

研究会の開催時期と異なるため、今後は、年間スケジュールおよび開催報告のみの掲載となります。

開催案内と講演募集につきましては、学会 Web サイトでご確認ください。



## 2024 年度 第 1 回研究会 開催案内

担当者： 大河雄一，加藤泰久，近藤伸彦，杣木佐知子，真嶋由貴恵，東本崇仁，  
森本容介（研究会委員会）

■ テーマ：

DX・AI 時代の学習環境，リスキリング／ヘルスケア分野の DX 人材育成／一般

■ 開催日時：

2024 年 5 月 18 日(土)

■ 開催場所：

千葉工業大学津田沼キャンパス

<https://www.it-chiba.ac.jp/institute/access/tsudanuma/>

※本研究会は対面のみで実施します。

■ 発表申込締切：

2024 年 3 月 28 日(木)（締め切りました）

■ 原稿提出締切：

2024 年 4 月 11 日(木)

■ 趣旨：

2024 年度第 1 回研究会は、「DX・AI 時代の学習環境，リスキリング／ヘルスケア分野の DX 人材育成／一般」のテーマで実施いたします。

DX（デジタルトランスフォーメーション）の概念が浸透し，様々な分野で DX に取り組まれてきました。また，現在も続く第三次 AI ブームの中で，昨年は生成 AI が大きな注目を集め，その活用が模索されました。DX は，ICT の利活用をさらに高度化し，データ・技術・人間が共生して新たな価値を創出することが本質です。DX の促進に AI が活用され，DX が進むことで AI が進歩するなど，DX と AI は相互補完的な関係にあります。教育・学習分野においても，DX，AI の活用は重要な課題となります。本研究会では，教育や学習における DX・AI について多面的に議論したいと考えております。DX・AI 時代に向けた大学や企業における人材開発，学習コンテンツ設計，インストラクショナルデザイン，品質評価，学習者支援，ブレンデッドラーニング・インフォーマルラーニングなどの方法論，eラーニングツール・システム，実践環境やモデルに関する提案・開発・応用など幅広いトピックに関する発表を募集いたします。

「ヘルスケア分野のDX人材育成」に関しては、ヘルスケア分野において求められる高い実践能力をもつ人材の育成やナレッジマネジメント、学習者支援、学習コンテンツの設計、インストラクショナルデザイン、医療シミュレーション教材の開発や実践、医療サービスの質保証ならびに質評価、eラーニング教材制作、臨床や教育機関での実践・運営環境、著作権処理などに関する様々なトピックを扱い、この分野における専門職教育に必要な知識や技能を習得するためのICT活用教育方法、さらにはこの分野におけるDX人材について議論を進めていきたいと思っております。

その他、教育システムに関する幅広い分野からの発表も歓迎いたします。初中等教育、高等教育、企業教育などの分野から、多くの方々の発表をお待ちしております。

■ 発表時間等：

通常の発表（原稿あり）は25分（発表17分、質疑7分、入れ替え1分）を、原稿なし発表は15分（発表、質疑、意見交換等を自由にアレンジ）を予定しております。

■ 発表申込および研究会への参加方法：

研究発表および研究会参加には、研究報告の年間購読（4,000円/年）または各回の研究報告の購入（1,000円/回）が必要となります。ただし、聴講のみを希望する学生会員は研究報告を購入する必要はありません。

○ 発表者

原稿提出は、第1回研究会のページ([https://www.jsise.org/research\\_society/2024\\_cfp\\_1st/](https://www.jsise.org/research_society/2024_cfp_1st/))の「申込者ログイン」よりお願いします。また、事前参加申込（研究報告の購入）は2024年4月15日9時に開始します。開始時刻以降に、「申込者ログイン」から手続きしてください。

○ 聴講のみを希望する学生会員

聴講のみを希望する学生会員は、「申込者ログイン」での手続きは行わず、下記の問い合わせ先まで直接メールでご連絡ください。

○ 上記以外の参加者

事前参加申込（研究報告の購入）は2024年4月15日9時に開始します。開始時刻以降に、第1回研究会のページ([https://www.jsise.org/research\\_society/2024\\_cfp\\_1st/](https://www.jsise.org/research_society/2024_cfp_1st/))の「申込者ログイン」から手続きしてください。

■ お問い合わせ先：

放送大学 森本容介（第1回研究会担当委員）

E-mail：morimoto [at] ouj.ac.jp（[at]の部分を@に変えて下さい）



## 2024 年度 第 2 回研究会 講演募集

担当者：不破泰，小松川浩，布施泉，野崎浩成，金子大輔（研究会委員会）

■ テーマ：

ICT を活用した学習支援と教育の質保証／一般

■ 開催日時：

2024 年 7 月 21 日（日）

■ 開催場所：

社会福祉総合センター（札幌市中央区）※本研究会は対面のみの実施です。

地下鉄東西線 西 18 丁目駅下車（出口 1 番）

JR バス，中央バス「北 1 条西 20 丁目」バス停下車 徒歩 3 分

[https://www.sapporo-shakyo.or.jp/service/general\\_center/access.html](https://www.sapporo-shakyo.or.jp/service/general_center/access.html)

■ 発表申込締切：

2024 年 5 月 30 日（木）

■ 原稿提出締切：

2024 年 6 月 20 日（木）

■ 趣旨：

現在，教育現場においては，ICT を活用した多様な学習支援が行われています。高等教育だけでなく，初等中等教育段階においても，1 人 1 台端末の利活用はもはや当然のこととなりました。今後，情報端末の更新も含めた環境整備をどう継続していくのかも大切になってきますが，やはり，ICT 活用がどのような学習場面でより有効なのか，ICT 活用によってこれまでできなかったどのような教育が実現できるのか，まだ議論が必要だと感じます。また，高大連携改革などの流れの中で，各教育課程における質保証に関する議論も行われていますが，それらは当然 ICT 活用を前提としています。

上述の背景から，本研究会のテーマを「ICT を活用した学習支援と教育の質保証／一般」としました。ICT を活用した学習支援，教材システム，学習支援の環境や技術，学習コンテンツの開発・評価などの研究や，そのようなシステムやコンテンツの活用事例を通じた教育効果や教育の質保証に関する研究発表を募集します。また，システムやコンテンツを用いた教育実践研究，教材評価，カリキュラム設計，学習科学，言語教育，授業研究など，教育またはシステムに関連した分野からの研究発表も歓迎いたします。職場の同僚や共同研究をしているグループなど，みなさまお誘い合わせの上，奮ってご参加下さい。



■ 発表時間等：

発表時間は 25 分（発表 17 分，質疑 7 分，入れ替え 1 分）です。

■ 発表申込および研究会への参加方法：

研究発表および研究会参加には，研究報告の年間購読（4,000 円／年）または各回の研究報告の購入（1,000 円／回）が必要となります。ただし，聴講のみを希望する学生会員は研究報告を購入する必要はありません。本研究会は対面のみの実施です。

○ 発表者

発表申込および原稿提出は，Web サイトの「申込者ログイン」よりお願いします。また，事前参加申込（研究報告の購入）は 2024 年 6 月 21 日 9 時に開始します。開始時刻以降に「申込者ログイン」から手続きしてください。

○ 聴講のみを希望する学生会員

聴講のみを希望する学生会員は，「申込者ログイン」での手続きは行わず，下記の問い合わせ先まで直接メールでご連絡ください。

○ 上記以外の参加者

事前参加申込（研究報告の購入）は 2024 年 6 月 21 日 9 時に開始します。開始時刻以降に「申込者ログイン」から手続きしてください。クレジットカード払いであれば当日まで事前参加申込が可能です。それ以外の支払い方法は 2024 年 7 月 13 日まで選ぶことができますが，支払期間内に入金しないと参加申込が確定となりません。支払期間は完了通知メールに記載されますので，必ずご確認をお願いいたします。

○ 現地での参加申込

当日の受付での参加申込は行いません。参加を予定している方は必ず事前参加申込を行ってください。クレジットカード払いの場合は，当日の事前参加申込も可能です。

○ 懇親会について

研究会終了後に懇親会を開催する予定です。会費は 5000 円程度の予定です。後日，第 2 回研究会 Web サイトなどで申し込み方法を掲示します。

■ 研究報告執筆フォーマット：

原稿の執筆・投稿にあたっては，以下のページをご確認ください。

- ・ 研究報告執筆要領：<https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2022/07/format.pdf>
- ・ 研究報告見本：<https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2022/07/sample.pdf>
- ・ 研究報告ひな形：<https://www.jsise.org/wp-content/uploads/2022/07/sample.docx>
- ・ 講演申込・原稿投稿方法：<https://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

■ お問い合わせ先：

金子大輔（北星学園大学）

E-mail：kenkyuu-2nd-ml [at] jsise.org（[at]の部分を半角の「@」に変えて下さい。）



## 科研費申請支援制度（2024 年度春期）のご案内

担当者： JSiSE 人材育成委員会

教育システム情報学会では、次代を担う若手研究者の自立、研究活動の活性化を積極的に支援することを主旨として、科研費申請支援制度を実施しています。本学会の理事等を中心に、当該分野の科研費審査や獲得経験を有する複数のシニア研究者（匿名）が、提出された申請書に対して、主張点や論旨の明確化、焦点化など、審査員に上手に伝えアピールする視点から、採択に向けたコメントを書面で提供するものです。申請書評価の多様な見方に触れて頂くためにも、学会としてまとめることはせずコメントータからのコメントをそのまま提供します。これらを参考材料として申請者ご自身の判断の下で取捨選択しての申請書のブラッシュアップに役立てて頂く主旨のものです。学会およびコメント提供者は申請内容について守秘義務を負うものとし、なお学会およびコメント提供者は採択に関する責任を負うことはできませんので、予めご承知おきください。

本制度は若手研究・基盤研究（C）および研究活動スタート支援を支援対象とします。主として以下の分野を対象にしますが、JSiSE が学際的な領域を対象にしていることから、他の分野でもできるだけ柔軟にお受けしたいと考えていますので、下記問い合わせ先までご相談ください。

・春期支援種目：

- ・研究活動スタート支援

（若手研究，基盤研究(C)は夏期の支援を予定しています。）

・分野：

- ・「大区分A」「中区分9：教育学およびその関連分野」

- ・09070 教育工学関連

- ・09080 科学教育関連

- ・「大区分J」「中区分62：応用情報学およびその関連分野」

- ・62030 学習支援システム関連

- ・申請者は学会員であることが必要です。

スケジュールは以下の通りです。ご所属機関により提出時期が異なることを踏まえ、提出期間に幅を持たせています。

○エントリー

研究活動スタート支援：3月下旬より開始済み

下記提出先まで電子メールにて、 代表者氏名(所属)・タイトル・応募種目・分野(大区分, 小区分) をお知らせください.

サブジェクトは「JSiSE 科研費申請支援」を含む文字列でお願いします.

※エントリーがなくても申請は随時受付いたしますが, 事前にエントリー頂ければコメンテータに書類を迅速にお送りできますので, 結果の返送も早くなります.

#### ○申請書提出

研究活動スタート支援: 3月下旬 ~ 申請者所属機関の申請書類締め切りの2週間前まで

申請書のファイル (MS-Word または PDF 形式) を下記提出先までお送りください (予算明細などの詳細まで埋めていただく必要はありませんが, よりよいコメントを提供するために, ある程度内容が固まってからご提出いただくのが望ましいと思われます). 提出いただき次第, コメンテータに申請書を送付します.

#### ○コメントのお返し

**【各コメンテータから提出があり次第, 随時コメントをお返します.】**

事前エントリーがあった場合申請書提出から1週間前後, ない場合10日前後の返信を予定しておりますが, 事情により遅れる可能性もございますので余裕をもってお申込みください.

エントリー, 申請書提出およびお問い合わせ先

JSiSE 人材育成委員会 (jsise-y-support@googlegroups.com)



## 「博士論文紹介」の原稿募集について

担当者： 学会誌編集委員会委員長 松浦 健二（徳島大学）

学会誌のコミュニティ・プラザ「博士論文紹介」は2021年より、各巻のNo. 3（7月1日発行）に集約をし、博士論文の紹介を総覧できる形式へ移行しました。複数の博士号取得者を一同に紹介することで「博士号取得者の研究テーマの動向を読者の皆様が一目で把握できる」「博士号取得者同士が互いを知る機会として、交流を深めるきっかけとなる」などのメリットがうまれることを期待しております。

年1回に集約したことにより、寄稿依頼を年度末前後の3～4月頃とし、本誌や学会のニュース・レターなどを通じて、募集を行って参ります。お近くに博士号取得者や、今後学会誌掲載時に博士号取得予定者がいらっしゃいましたら、ご本人または、指導教員の立場によらず、以下の教育システム情報学会誌編集委員会担当委員のメールアドレスまで、お気軽に情報提供いただけますと幸いです。

2024年7月1日発行予定となります学会誌Vol. 41, No. 3につきましては、【2024年4月19日(金)】を原稿締切の予定とし、募集を行ってまいります。

執筆に際しては、博士論文紹介原稿用の執筆要領&原稿テンプレートをご利用ください。原稿および必要事項の提出に関してはGoogleフォームを用いて行うようにいたします。下記URLよりご利用ください。

### スケジュール

原稿締切： 2024年4月19日(金)（予定）  
学会誌掲載： 学会誌Vol. 41, No. 3, 2024年7月1日発行（予定）

### 執筆要領および原稿提出

執筆要領&原稿テンプレート：  
<https://docs.google.com/uc?export=download&id=1ZQLwCvdBb0RF7YCtXiBlk3rinKqe7Qsc>  
原稿提出（Googleフォーム）：  
<https://forms.gle/s6apsfhhbxetLsvRJ9>

### 問い合わせ等

問い合わせ先： 教育システム情報学会誌編集委員会 担当委員 林 佑樹（大阪公立大学）  
E-mail: hayapy@omu.ac.jp  
（「@」の部分は、半角の「@」に変えて下さい）



## 2025 年度発刊 特集号論文募集

担当者： 学会誌編集委員会委員長 松浦 健二（徳島大学）

エビデンスに基づいた学習者中心の教育・学習支援

論文投稿締切：2024 年 6 月 1 日（土）

2025 年 4 月 1 日 発行（予定）

2020 年 3 月から感染が拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの教育機関で遠隔・オンライン教育が実施されました。同時に、学習管理システム（LMS）や e ポートフォリオの利用が進み、講義資料の閲覧履歴や小テストの解答履歴、レポート等の成果物に加え、講義中の映像や発話情報などのマルチモーダルな教育・学習データも蓄積されるようになりました。また、近年では、学習中の生体情報も比較的容易に取得できるようになり、これらの多種多様かつ膨大な教育・学習データを LRS (Learning Record Store) で一元管理し、学習者のために活用しようとする機運が高まっています。そこで、本特集号では、教育や学習の過程で収集されたデータを利用した学習者中心の教育・学習の支援に関する先進的な取り組みに関する論文を広く募集します。

### 1. 対象分野

学習記録データ等の収集、蓄積、分析、可視化に関する技術、学習記録データ等の分析結果に基づいた教育・学習の実践に関する研究、生体情報を教育・学習支援に応用した研究等を広く募集します。

### 2. 論文種別

すべての種別（一般論文、実践論文、ショートノート、実践速報）の論文を募集いたします。なお、査読を通して、異なる種別での採録となる場合があります。また、内容により一般号掲載論文へ変更する場合があります。

### 3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。投稿に際しては「特集号」であることを明示していただきます。また、特集論文研究会（2024 年 3 月 9 日開催）で発表を行った方は、特集論文研究会での発表題目と発表番号も明示いただく予定としております。

#### 4. スケジュール

論文投稿締切： 2024年6月1日(土)  
採録通知予定： 2024年12月初旬まで  
学会誌 掲載： 学会誌Vol. 42, No. 2, 2025年4月1日発行 【予定】

#### 5. 特集号編集委員会

委員長： 松浦 健二(徳島大学)  
副委員長： 後藤田 中(香川大学)  
筆頭幹事： 高木 正則(電気通信大学)  
幹 事： 近藤 伸彦(東京都立大学)， 山元 翔(近畿大学)，  
林 佑樹(大阪公立大学)， 山崎 治(千葉工業大学)  
幹事補佐： 太田 光一(北陸先端科学技術大学院大学)，  
吉原 和明(近畿大学)  
委 員： 学会誌編集委員

#### 6. 問い合わせ

全 般： 山元翔(近畿大学) E-mail: yamamoto [at] info.kindai.ac.jp  
([at]の部分を半角の「@」に変えて下さい)



## Information and Technology in Education and Learning (ITEL)

論文募集 [ <https://www.j-itel.org> ]

日本教育工学会 (JSET) との合同英文誌 ITEL (Information and Technology in Education and Learning, <https://www.j-itel.org>) への掲載原稿を募集しています。この ITEL では、我が国における教育工学・教育システム情報学の国際的な発信力を強化するとともに、国際的な共同研究・研究交流のプラットフォームになることを目指しています。研究対象は、教育システム情報に関連した領域全般はもちろん、様々な教授学習場面のための方法・技術に関する基礎研究・開発研究・実践研究等も含まれます。ITEL は、J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルです (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/itel/list/-char/ja>)。投稿後、原則、7 か月以内に 2 回の査読が終了するように配慮しています。短期間で、革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて発信するために活用していただければ幸いです。学位取得を目指されている方や留学生のみなさんからのご投稿もお待ちしております。

- 論文種別： 一般論文 (Regular Paper, 基本 8 ページ) ,  
実践論文 (Practice Paper, 基本 8 ページ) ,  
システム開発論文 (Development Paper, 基本 8 ページ) ,  
ショート論文 (Short Paper, 基本 4 ページで最長 6 ページまで)  
<これまでのショートノート (Short Note) と実践速報 (Report on Practice) を含みます>
- 投稿締切：1 年中投稿を受け付けています。
- 投稿要件：
  - ・論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。
  - ・投稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員あるいは JSET 会員である場合には掲載料に会員の価格が適用されます。投稿者が 2 名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも 1 名が会員であれば、掲載料に会員価格が適用されます。
- 原稿執筆要領：ITEL Web サイトに、執筆要領 (Author Guidelines) 等がアップされています。
- 投稿方法：< [ITEL 電子投稿システム] [https://iap-jp.org/j-itel/journal\\_e/](https://iap-jp.org/j-itel/journal_e/) >
  - ・ITEL Web サイト上から、電子投稿システムにログインして投稿を行って下さい。
  - ・初めて電子投稿システムを利用する場合は、まず利用者用 ID の発行手続きを行って下さい。
  - ・投稿論文は、論文執筆用テンプレートファイルを用いて PDF ファイルに出力して提出して下さい。
  - ・投稿論文は、投稿前にできるだけ英文校正 (Proofreading) を受け、証明書提出を推奨しています。
- 査読方法：
  - ・投稿論文の査読は、JSiSE 英文誌と同様に、シングルブラインド制で行われます。
  - ・査読者は 2 名で、査読回数は 2 回となります (著者照会は 1 回のみ)。
  - ・評価項目は、Originality (新規性)、Usefulness (有用性)、Reliability (信頼性)、Presentation (明瞭性) の 4 項目となり、JSiSE 英文誌と異なり、査読中に投稿論文の種別変更はありません。
  - ・投稿者の希望に基づき、JSiSE 英文誌と同様、日本語で査読コメントを受けることもできます。



Editorial	<p>Preface to Volume 3: The Potential of One Tablet Per Student for Supporting Individualized Learning and Collaborative Learning Hiroaki Ogata, Hidenobu Kunichika</p>
Invited Paper	<p>AI in Education and Learning Analytics in Singapore: An Overview of Key Projects and Initiatives Alwyn Vwen Yen Lee, Elizabeth Koh, Chee Kit Looi</p>
	<p>AI and Big Data in Education: Learning Patterns Identification and Intervention Leads to Performance Enhancement Stephen J.H. Yang, Chien-Chang Lin, Anna Y.Q. Huang, Owen H.T. Lu, Chia-Chen Hou, Hiroaki Ogata</p>
	<p>A Review of the ICT Environment for Customized Learning Among Elementary and Secondary School Students in South Korea: Focusing on the One PC per Student Initiative Kyubok Cho</p> <p>A Perspective from Educational Technology Research Trends in Individualization of Learning in Elementary and Secondary Education in Japan Tatsuya Horita, Toru Nagahama</p>
Regular Paper	<p>Text Mining Analyses of Programming Education Articles Since the 1970s Takahisa Furuta, Gerald Knezek</p>
	<p>Examinee Authentication Using Multiple Types of Touch Gestures for Proxy Detection in Online Examinations Shoko Yasuda, Hiroyuki Ogata</p>
	<p>Supporting Reflective Teaching Workflow with Real-World Data and Learning Analytics Hiroyuki Kuromiya, Taro Nakanishi, Izumi Horikoshi, Rwitajit Majumdar, Hiroaki Ogata</p>
Short Paper	<p>Students' Learning Strategies: Effects of Open-Ended Questions and Class-Preparation Assignments Were Provided in Advance Rumi Matsushima, Hitomi Ozaki</p>

	<p>Relations Between Participation in Peer Review and Learning Outcomes in Online Learning Huazhe Sha, Mayumi Sugiura, Tomohiro Nagashima, Katsusuke Shigeta</p>
	<p>Effects of Class Orientation on Sense of Fulfillment and Self-Growth at the University Level: Mediated by Academic Engagement Rumi Matsushima, Hitomi Ozaki</p>
Translation	<p>Actual Conditions of Work-Life Balance and Required Supports of Improvement of Work Environment on Faculty Members Yukari Fuchigami, Naho Sugita</p>
	<p>Artificial Intelligence Education in an Elementary School and Its Evaluation by Career Development, Motivation and Rubrics Yuto Omae, Tatsuro Furuya, Masaya Matsushita, Kazutaka Mizukoshi, Kazuhiro Yatsushiro, Hirotaka Takahashi</p>
	<p>A Recommendation-type Dialogue System Responding to Potential Requests in Consideration of Personal Attributes Yosuke Seki, Yoshihiko Ueno</p>
	<p>A Study on AR Materials and Teaching Methods to Support the Clarification of Students' Naive Conceptions of Electric Current and Transformation into Scientific Conceptions Hiroyoshi Kinoshita, Yasuhiro Iwasaki</p>
	<p>An Educational Practice to Support Pupils' Task Settings of Independent Research: Effects on Pupils' Self-Evaluation and Awareness of Inquiry Skills Tatsushi Fukaya, Daisuke Mito</p>
	<p>Evaluation of the Level of Achievement and Issues in Gerontological Nursing Practice During COVID-19 Yuko Kawakami, Yasunori Nakamura, Ayako Matsuo, Atsuko Emoto</p>
	<p>Conceptualization and Generalization of an Integrated Lesson in Elementary Social Studies and Its Effects on the Use of Learning Strategies Tatsuya Kato, Takeshi Machi</p>



## 「ラーニングイノベーショングランプリ 2024」応募受付開始

教育システム情報学会 産学連携委員会 委員長 長谷川 忍

JSiSE が 2016 年度より共催している産学連携イベントであるラーニングイノベーショングランプリが今年度も開催されます。2024 年度はグランプリの表彰式・受賞者プレゼンテーションが、2024 年 7 月 17 日（水）に東京国際フォーラムで開催される予定です。

本グランプリは、教育や人材育成に関わる企業と、革新的な学習・教育環境を研究している高等教育機関のマッチング機会を拓けるものです。昨今、企業内教育においてはデジタル化の急速な進展を背景にラーニングテクノロジーに注目が集まり、今後は学術発の知見に対する産業界の期待も高まることが予想されます。こうしたなかで、本グランプリは産学のブリッジ役として、新たな枠組みを目指すものです。

### <募集ジャンル>

ラーニングイノベーショングランプリでは、テクノロジー分野だけでなく教育実践や教授法も含めた新たな学習・教育環境の研究内容を広く募集します。

キーワード：AR, VR, IoT, AI, ディープラーニング, デバイス, プラットフォーム, 教育ビッグデータ, ラーニングアナリティクス, コンテンツ, 教育実践, 教授法, 教育分野におけるシステムの利活用, メタ認知, SRL/SDL など

ラーニングイノベーショングランプリでは、学生だけでなく若手研究者（2024 年 5 月 8 日時点で 40 歳未満）からの応募も受け付けます。但し、学生または若手研究者を主とする研究室での研究に焦点をあてた企画のため、学生と若手研究者を最低各 1 名、あるいは若手研究者単独がチームの最小構成となります。

研究成果を論文評価とは異なる目で見ていただける機会であり、産業界からのフィードバックを得られる機会です。是非ご応募をご検討ください。

### 【スケジュール】

3 月 21 日（木）：公式 Web サイトオープン 応募受付開始

5 月 8 日（水）：応募受付締め切り（午前 11:59 締め切り）

5 月 29 日（水）：公式サイトで一次審査結果発表

5 月 29 日（水）～ 6 月 13 日（木）：一次通過者動画制作期間

7 月 1 日（月）：公式サイトでの受賞者発表

7 月 17 日（水）：受賞者プレゼンテーション・表彰式（会場：東京国際フォーラム）

### 【公式サイト】

<https://ligp.gingerapp.co.jp/>

★これまでに受賞された研究がアーカイブス (<https://ligp.gingerapp.co.jp/archives/>) としてまとめられています。紹介動画もございますので、是非ご覧ください。

#### 【運営体制】

主催：一般社団法人ラーニングイノベーションコンソシアム (LIC)

共催：教育システム情報学会 (JSiSE)，特定非営利活動法人デジタルラーニング・コンソーシアム (DLC)

協賛：日本情報科教育学会，日本教育工学会，人工知能学会，情報処理学会 CLE 研究会，電子情報通信学会教育工学研究会，学習分析学会

協力：ジンジャーアップ (公式サイト)

運営：ラーニングイノベーショングランプリ実行委員会

プラチナスポンサー：ジンジャーアップ

ネーミングライツスポンサー：イーラーニング，サイコム・ブレインズ，UMU テクノロジーズジャパン

#### 【実行委員】

川口 泰司 : LIC/サイコム・ブレインズ株式会社 ※実行委員長

青木 泰子 : LIC/株式会社イーラーニング

加藤 憲治 : LIC/デジタルラーニング・コンソーシアム

前田 宏 : LIC/株式会社ジンジャーアップ

長谷川 忍 : JSiSE/北陸先端科学技術大学院大学

米谷 雄介 : JSiSE/香川大学

平 治彦 : JSiSE/日本データパシフィック株式会社



## 2023 年度 第 6 回研究会 開催報告

担当者： 浅羽修丈（北九州市立大学）、尾崎拓郎（大阪教育大学）、鷹岡亮（山口大学）  
永田奈央美（静岡産業大学）、西端律子（畿央大学）、長谷川理（武蔵野大学）、  
林雄介（広島大学）、三井一希（山梨大学）、森祥寛（金沢大学）山本樹（明海大学）

### ■ テーマ：

実社会や他校種との接続を意識したデータサイエンス教育／一般

### ■ 開催日時：

2024 年 3 月 10 日（日）

### ■ 開催場所：

山口大学 吉田キャンパス

### ■ 概要：

第 6 回研究会は、2024 年 3 月 10 日に対面で開催しました。日本が実現を目指す Society 5.0 の社会では、社会全体で持続的に新たな価値を生み出すことが求められており、ひとりひとりが Society 5.0 の担い手として活躍できるように、初等中等教育の各段階から新たな価値創造をするための能力の育成が求められており、現行の学習指導要領においても、データサイエンス・AI の基礎となる数理分野での学習内容の充実が図られ、各学校種間での当該分野における連携の充実も求められていることを踏まえ、「実社会や他校種との接続を意識したデータサイエンス教育」をテーマとし開催しました。このテーマに関する研究発表が数多く報告されましたが、それに加えて、「学習支援システム」、「学習コンテンツ」、「生成 AI 活用」をキーワードとするさまざまな研究発表がありました。参加者は 70 名、発表件数は 37 件と多くの方にご参加いただきました。各セッションでは聴講されている方からの質問も多くあり、闊達な議論が行われました。これも参加された皆様のお陰です。当日のご発表・ご参加いただきました。深く感謝申し上げます。

### ■ 発表タイトル：

- 生成 AI にレポート作成を指示する演習の設計と試行
- 学部留学生を対象とした日本語文章表現の授業における ChatGPT の活用 -受講者の意識の変容に関する分析-
- 外国語学習への生成 AI の活用に向けた学生の使用経験に関する予備調査
- 対話型文章生成 AI を利用した Web 調べ学習に関する分析
- 一齣漫画を用いた著作権の学習と生成 AI

- 機械学習を利用した地学分野の探求的学習用教材の開発 ～地理空間データの活用に向けて～
- 整数最適化問題のソルバーとして量子アニーリングマシンを教室に
- 可視化データを用いた振り返り活動の実践と評価—小学校第6学年国語科「話すこと・聞くこと」の指導を通して—
- 教員養成課程におけるAIの活用を踏まえた学習指導の検討
- 生成AIに対する学生の試行評価結果に基づく考察
- 児童生徒のエンゲージメントと1人1台端末を活用した学習方略および教員のICT活用指導力に関する研究
- 子どもの主体的学びを促す学修成果物共有基盤のプロトタイプ開発
- ジグソー・テキスト：データサイエンス教育で活用する並べ替え型パズル教材
- 研究プロセスを想定したデータサイエンス教育の実践
- データサイエンス教育における大規模データ処理演習への提案 ～シェルスクリプトを用いて、100億件を越えるアメダス・地上観測所データを処理する方法とその教育～
- データサイエンス教育における教育差の縮小と学習効果向上に向けての提案
- 自己効力感を高めるロボットとの相補的教え合い支援
- オンライン・プレ・バズセッションでの学習準備状態に関するグループごとの特徴
- 採点手順を自由に構築可能なe-Learningコンテンツの開発
- スマートフォンを用いた現地調査を組み込んだデータ処理・可視化実習の実践
- 大学生の学習動機づけの日台比較研究
- モバイルアプリに実装した自発的な復習を可能とするUXデザインの活用状況の分析
- 英語音読練習における重要単語に着目した音読データの採点手法
- 面接時の印象を向上させるノンバーバルな要因の解析と考察
- 大学生の運動行動変容に向けたウォークラリーイベントの実践と評価
- 認定看護師の研修設計における教授方法の獲得過程
- 転倒予防における大学生の歩行状況調査と前脛骨筋トレーニングによるToe clearanceの改善効果
- 食育支援システムの開発と効果 -平日と週末における食事内容の傾向の調査分析-
- 座位姿勢に対する意識改善に向けた姿勢測定マットの開発とフィードバックによる評価
- キャンパス内における健康行動変容に向けた実態調査 —健康状況（血圧・野菜摂取）の可視化を通して—
- 在宅看護過程演習が自己調整学習に与える影響の調査
- 大学生の睡眠習慣管理型LINEチャットボットシステムの開発と評価
- LINEを活用した大学生向け「お薬手帳」の開発
- 起床後の水分摂取と腸蠕動音の相関 ～健康教育のための電子聴診法による定量的検証～
- 創造的議論におけるメタ認知的振り返り支援システム
- ロボットを用いたプレゼンテーション動作オーサリングシステムによるセルフレビュー支援
- 概念マップの再構成はなぜ高次思考を促すのか？



## 2023 年度 特集論文研究会 開催報告

担当者： 学会誌編集委員会幹事 山元 翔（近畿大学）

- テーマ： エビデンスに基づいた学習者中心の教育・学習支援
- 開催日： 2024 年 3 月 9 日（土）
- 会場： オンライン (Zoom)
- 発表件数： 13 件（閲読希望：8 件）
- 参加申込： 52 名

### ■ 概要：

特集論文研究会では、一昨年度からより良い閲読コメントをお渡しできるように、当日の発表内容を録画させていただき閲読させていただくことになりました。また、発表者には研究報告原稿の他に、発表する研究について「リサーチクエスト」「新規性」「有用性」「信頼性」の各主張点（論文投稿におけるカバーレターの内容に相当）をまとめて事前に提出をいただき、それらの点も閲読時に参考にさせていただいています。

1) 閲読コメント担当者は、1 編に対して 2 名

① 閲読者に事前に論文を送付

② 閲読者は当日の発表あるいは録画映像を踏まえて閲読コメントを作成

2) 閲読コメントは 2024 年 4 月 8 日（月）までに送付

### ■ 当日の会場運営に関する報告：

今年度は、第 6 回研究会の前日に特集論文研究会を開催し、連日開催となりました。本研究会は、オンラインで実施し、Zoom のブレイクアウトルーム機能を利用して A・B 会場 2 会場をブレイクアウトルームで用意しました。発表は午前 2 セッション、午後 2 セッションで合計 4 セッションの開催となりました。例年に比べて、発表件数や参加者はやや落ち着いた数字となりましたが、盛況となりました。ご発表、ご参加、ご議論いただきました皆様に感謝申し上げます。

### ■ 編集委員会からの報告と関連企画のご案内：

今年度も変わらず興味深いご発表をいただきましたが、生成 AI を活用とした研究や、DS・AI 教育、ICT 支援員の状況など、時節を得たご発表も多くいただけたのではないかと思います。4 つのセッションの座長には、有意義な議論を導いてくださいました。審査委員には、各担当の発表にて受賞選定の評価をいただきました。閲読委員の皆さまには、当日、事後も含めて、原稿や映像を丁寧に読み込み、閲読コメント作成に尽力いただき感謝しております。

本特集論文研究会は、論文特集号との連動企画となっております。特集テーマは、今回の特集論文研究会のテーマでもあります「エビデンスに基づいた学習者中心の教育・学習支援」です。2025 年 4 月発行

予定となります。学会誌特集論文号の案内を学会 Web サイト ([https://www.jsise.org/cfp2024\\_offer/](https://www.jsise.org/cfp2024_offer/)) にて掲載しております。論文投稿の締切は【2024年6月1日(土)】です。詳細は学会 Web サイト上の情報をご確認ください。閱讀希望なしでご発表になった研究、また、本研究会で発表いただいていない研究の内容もご投稿可能です。皆様のご投稿を心よりお待ちしております。

次年度以降も3月に開催されます特集論文研究会に、第6回研究会とあわせてのご参加をぜひご検討ください。





## 2023 年度学生研究発表会開催報告・優秀賞のお知らせ

担当者： 人材育成委員会

2023 年度 JSiSE 学生研究発表会は、2024 年 2 月後半から 3 月中旬にかけて、北海道、北信越、関東、東海、関西、中国、四国、九州・沖縄の地区で、各支部主催により開催されました。発表総件数は 97 件、参加者数は 229 名と、各会場とも盛況な研究発表会となりました。各地区の優秀な発表については、優秀賞として選定されています。

各地区の学生研究発表会の参加者数および発表者数、ならびに受賞リストは以下の通りです。

### 学生研究発表会開催状況

地区	地区担当者	開催日	発表件数	参加者数
北海道	山本 裕一（北海道大学）	2024 年 2 月 29 日（木）	9（口頭のみ）	32
北信越	本吉 達郎（富山県立大学）	2024 年 3 月 6 日（水）	6（口頭のみ）	11
関東	小島 一晃（帝京大学）	2024 年 2 月 27 日（火）～ 28 日（水）	7（口頭のみ）	16
東海	野崎 浩成（愛知教育大学）	2024 年 2 月 20 日（火）	17（口頭のみ）	50
関西	河野 稔（兵庫大学）	2024 年 2 月 29 日（木）	24（口頭 8，ポスター 16）	39
中国	林 雄介（広島大学）	2024 年 2 月 23 日（金）	14（口頭のみ）	31
四国	米谷 雄介（香川大学）	2024 年 3 月 13 日（水）	9（口頭及びポスター）	21
九州・ 沖縄	丹羽 量久（長崎大学）・ 小渡 悟（沖縄国際大学）	2024 年 2 月 27 日（火）	11（口頭のみ）	29

### 優秀賞（優秀発表賞・優秀ポスター発表賞）

地区	受賞者氏名	受賞者所属	タイトル
北海道	中里 美夢	函館工業高等専門学校	思考言語を取り入れたプログラミング学習支援環境における学習効果の検証
	佐藤 駿	公立千歳科学技術大学	ESD に関わる能力が学生の情報システム開発 PBL のスクラム活動に与える影響の調査
北信越	宮崎 勇希	富山県立大学	論理型プログラミングの学習を目指したタンジブルなツールの試作と評価
関東	有賀 弘晃	電気通信大学	遠隔操作ロボットによるハイブリッド議論への効果分析

	後藤 照佳	電気通信大学	問題と模範解答を同時に生成する難易度調整機能付き読解問題自動生成手法
東海	伊藤 梨乃	岐阜大学大学院	中学生を対象とした「音」を題材とする教科横断型探究カリキュラムの開発
	安田 陸	静岡大学	医学系対訳コーパスを使用した英語学習 Web アプリケーションー学習者のスキル向上を指向した機能拡張ー
	岩田 蒼良	名古屋大学	視線データからの解答過程の分析における時系列情報を含むヒートマップによる可視化の有効性
	脇谷 大志	信州大学	フォースプレートデータを基準とした歩行動作におけるかかと接地検出アルゴリズムの基礎的検討ー鉛直方向加速度を用いた推定ー
	各務 正太郎	信州大学	モデリング学習支援環境におけるテンプレート機能の改善とその効果検証
関西	城村 光紀	京都教育大学大学院	高等学校での生徒によるデータ分析の補助ツールの開発 (*)
	小田 耀斗	和歌山大学	回転球を打ち返す技術を向上させる VR 卓球スキル学習システムの構築と検証 (*)
	中尾 琢	大阪府立大学	時間同期ミッション参加型プラグインの開発
	信川 大紀	大阪府立大学	協同学習のための相互評価機能を持つ仮想空間学習支援システムの開発
	寺本 直暉	近畿大学	セグメンテーションマスクを活用した器械体操の骨格推定
中国	シュレスタアロク	大阪工業大学大学院	CLASS3.0:授業訓練システムにおける教師と仮想生徒間の対話についての検討
	森田 響	広島大学	数量の役割に注目して算数物語構造を学習する連鎖的物語作成ゲームの設計・開発
	田出 有人	山口大学大学院	「個に応じた指導」を目指した数学教育における ICT の活用に関する研究ーダッシュボードを活用した自己調整学習に向けてー
	植田 昭夫	広島大学	論証構造の再構成的理解を通じた論証吟味法の提案と演習システムの設計・開発
四国	中田 陸斗	香川大学	仮想受講者参加によるオンライン学習支援システム「KadaMate/カダメイト」の質問文/回答文自動生成機能の開発
	山田 健斗	徳島大学	鉄道車両運転における視線のホームポジション学習支援

九州・ 沖縄	岸本 蒼唯	佐賀大学	GPT-4 を用いて物理の問題文から映像を自動生成するシステムの開発
	比嘉 和樹	琉球大学	データ拡張による動機づけ面接のための MITI コード推定手法の改善
	秋岡 菜々子	熊本県立大学	児童を対象とした江津湖の外来種問題に対する理解度向上を目的としたアプリケーションの開発

\*は優秀ポスター発表賞である。なお四国地区は、全発表が口頭発表とポスター発表を行っている。



## 研究会報告年間購読の申し込みについて

研究会報告は、2016年度からは印刷媒体での研究会報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究会報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得になっております。

- ・年間購読:4,000円（定例研究会年6回，特集研究会1回，計7回分を含む）
- ・当日販売:1冊1,000円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。すでに年間購読をしていた方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局 ([secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)) まで年間購読申込をしてください。

=====  
※研究会報告年間購読希望  
会員番号（お分かりであれば）：  
お名前：  
所属：  
連絡先 e メールアドレス：  
=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局 ([secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)) までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。

# 北信越支部より活動報告

## 2023 年度北信越支部学生研究発表会開催報告

担当者：本吉達郎（富山県立大学）  
森下 孟（信州大学）

2023 年度北信越支部学生研究発表会は、3月6日（水）に、大学コンソーシアム富山で対面開催しました。6件の申込みがあり、11名が参加、その中から優秀発表及び年次大会への推薦1名を選ばせていただきました。

今回の研究発表では、視覚障がい者向けの支援システムや小中高校生向けのプログラミング教育に関する研究課題がみられました。具体的には、リニアアクチュエータを用いた平面位置制御を可能にする移動機構の開発や、タンジブルツールを用いてプログラミング学習を支援する試み、プログラミング入門者に対する GUI ツールから CUI ツールへの移行授業の試みや、ペアプログラミング学習を支援するためのメタ認知を活用したシステムの提案がなされ、どれも実用的な研究成果が報告されました。

2023 年度の学生研究発表会では、2019 年 3 月以来、念願の対面開催となりました。オンライン型の研究会が多くなってきている中、対面開催による発表者や質問者などの顔をみでの交流ができ、非常に和やかでありながら活発な意見交換が行われました。参加者数が少なかったことは今後の課題であると思いますが、引き続き対面による交流を大切にしながら、今後の学生研究発表会のあり方を検討して参りたいと思います。



## 関東支部より活動報告

### 学生研究発表会（関東地区）開催報告

2023 年度 学生研究発表会関東地区実行委員

2023 年度 JSiSE 学生研究発表会（関東地区）は、2024 年 2 月 27 日から 28 日にかけて、栃木県大江山温泉物語 ホテル鬼怒川御苑にて合宿形式にて開催されました。合宿形式で開催されるのは 2018 年度以来の 5 年ぶりとなります。主なイベントとしては、口頭発表（7 件）、ナイトセッションが実施されました。本年度は、久しぶりの合宿形式という事もあり、例年より多くの質疑応答時間を取るとともに、ナイトセッションにて各自の研究や研究領域全般についての議論が行われるなど、濃密な研究討論が行われる会となりました。

本年度の口頭発表では、例年およそ 4, 5 分程度である質疑の時間を約 2 倍の 9 分に延長いたしました。口頭発表では、学部生や大学院生など総勢 7 名がいずれも自身の研究の興味深い点などについて発表するとともに、延長した 9 分という質疑応答時間ですら足りないほどの活発な議論が行われました。初日のセッション終了後には、ホテル鬼怒川御苑の提供する美味しい料理に舌鼓を打ちながら、楽しく親睦しました。ナイトセッションでは、各自の研究についてのみならず、情報システム情報学の哲学や理念についての議論が行われ、学生自身の研究についての理解が深まると同時に、学生間および学生と教員間での交流が深まりました。特に、異なる学校の学生間での交流も活発に行われ、学生にとって視野を広げる良い機会になったようです。



(写真) 口頭発表の様子



(写真) 学生・教員が親睦を深める様子

関東地区では、来年度も合宿形式の学生研究発表会を予定しております。また、2018 年度まで例年行っており、非常に好評であったグループワーク等の企画も今後検討していくつもりです。

以上

## 広報からのお知らせ



### ニュースレター発行回数変更のお知らせ

2024年度より、ニュースレターの発行は年4回となります。研究会の開催時期と異なるため、今後は、年間スケジュールおよび開催報告のみの掲載となります。開催案内と講演募集につきましては、学会Webサイトでご確認ください。



### X (Twitter) アカウントの紹介

2016年8月下旬より、全国大会開催に合わせて学会の公式 X (Twitter) アカウントを開設しました。本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております。本学会へのご質問・お問い合わせは、学会事務局 (secretariat@jsise.org) へお願いします。

<https://twitter.com/JsisePr>

◇ 2024年4月1日現在、フォロワー数 275 アカウント



### Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会の公式 Facebook ページを運用しています。本ページでは、論文・発表募集や本学会に関連するイベントの情報などをお届けしています。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします。

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

◇ 2024年4月1日現在、いいね 610 件、663 人フォロー

X (Twitter)、Facebook への情報掲載の依頼などは学会事務局 (secretariat@jsise.org) までお問い合わせください。



## 他団体 協賛・後援イベントのお知らせ

協賛：「2024年度工学教育研究講演会」

日時：2024年9月4日（水）～6日（金）

会場：九州大学伊都キャンパス

後援：「第5回学力向上アプリコンテスト」

日時：2024年4月1日～2024年11月9日

会場：オンライン開催





## 国際会議のご案内

- 2024年7月開催

AIED 2024: 25th International Conference on Artificial Intelligence in Education

開催期間: July 8-12, 2024

開催地: RECIFE, BRAZIL

URL: <https://aied2024.cesar.school/>

EDM 2024: Educational Data Mining 2024

開催期間: July 14-17, 2024

開催地: Atlanta, Georgia, USA

URL: <https://educationaldatamining.org/edm2024/>

- 2024年11月開催

ICCE 2024: The 32nd International Conference on Computers in Education

開催期間: November 25-29, 2024

開催地: MANILA, PHILIPPINES

URL: <https://icce2024.ateneo.edu/>



## 会費納入のお願い

学会の運営は皆様の年会費で支えられております。今年度の年会費が未納の方はご入金をお願いいたします。なお、10月以降に年会費が未納の場合、学会誌の送付が一時休止されます。入金確認後、入金日の翌月末までに今年度内の未送付分も合わせて学会誌の送付を再開いたします。3月末までに入金を確認できない場合は、未送付分の学会誌はお送りできなくなりますので、お早めにお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページのURLは、会員情報管理システムの業務委託をしている株式会社国際文献社のものです。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

### ■振込先

#### ◆ゆうちょ銀行

口座記号番号：00180-6-709632

加入者名：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガックイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）

店名：〇一九 店（ゼロイチキョウ店） 預金種別：当座 口座番号：0709632

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガックイ

#### ◆三菱UFJ銀行（金融機関コード：0005）

店名：上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別：普通 口座番号：0142708

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガックイ

#### ◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）

店名：茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別：普通 口座番号：1399483

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガックイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（[secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。  
※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

## 【過年度年会費を支払われていない方へ】

マイページでは、全ての年度の未納金額を合算した金額が請求されます。先に本年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（[secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、会員資格停止の手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局（[secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター  
Tel:03-6824-9376 Fax:03-5227-8631 Email : [secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)



事務局より



## 会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものです。

■会員専用ページでは、以下のことができます。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要です。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



## 入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。

URL : <http://www.jsise.org/admission/index.html>

### ☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、**入会金を無料にさせて頂くというキャンペーン**を行っております。  
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。



## 新入会員のご紹介

下記の皆様が新しく入会されました。(2024年1月26日～2024年3月21日)

本学会での益々のご活躍を期待しております！

会員名	会員種別
AYEDOUN EMMANUEL	正会員

(計1名)